岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　府中上下線外　道路災害防除事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　自然斜面

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	広島県府中市斗升町	北緯	34° 39' 8.3000"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和3年12月 8日～ 令和3年12月13日	東経	133° 10' 42.5000"
調査業者名		主任技師		現場代理人	鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 334.25m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	13.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：ワイビーエム製YSO-1型 / エンジン：ヤンマー製TF-120VE型 / ポンプ：ワイビーエム製SP-40型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
	333.45	0.80		砂礫	茶褐								草根を多く含む礫質砂 礫は花崗岩礫を主体とする。 マトリックスはまさ土の細砂で構成される。	
1				風化花崗岩	褐	w3	h3	C	Ⅳ	c	D	100		
2												100	礫状～岩片状を呈する花崗岩 岩片はハンマーの軽打で砕ける。 岩片は風化の影響を受け脆い。	
3	330.65	3.60										100 / 8 [0] 100		
4				花崗岩	褐灰	w2	h2	B	Ⅲ	b	CL	100 / 9 [0] 100	短棒状～棒状コアを呈する花崗岩。 コアは硬質でハンマーの軽打で砕けない。 亀裂が多く、角度は50～60°を主体とする。 GL-9.50m～11.00mは縦亀裂が発達し、コアは岩片状を呈する。	12/10 3.80
5												100 / 11 [11] 100		
6												100 / 8 [0] 100		
7												100 / 10 [10] 100		
8									Ⅱ		CM	100 / 17 [29] 100		
9									Ⅲ		CL	100 / 4 [0] 100		12/13 9.20
10												100 / 9 [0] 100		
11												100 / 10 [10] 100		
12												100 / 28 [46] 100		
13	321.25	13.00												
14														
15														
16														
17														
18														

標準貫入試験

深度－N値図 (0 10 20 30 40 50 60)

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.15	50	270	
	1.42			
50以上	2.10	50	170	
	2.27			
50以上	3.00	50	60	
	3.06			
50以上	4.00	50	20	
	4.02			
50以上	5.00	50	10	
	5.01			

原位置試験

室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
	120	66/ケーシング	S/M	30	60	0	0	0
				30	60	0	0	0
12/8			W/D	40	110	2	10	16
	80			40	120	2	13	13
12/9								
	100			50	120	2	12	12
12/10								
12/13				50	120	2	12	12